

# どうなっているの 柏市の財政

平成23年度版



柏市の財政状況を  
わかりやすく  
解説しました。

「市民との協働によるまちづくり」を実践していくためには、市民の皆さんに柏市の財政状況を知っていただくことが大切であると考えています。

これまでも、「予算の概要」や「決算の概要」を作成し、公表してきましたが、これらの資料は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいて、市民の皆さんには少々わかりにくい作りとなっています。

そこで、平成23年度から、予算や決算の概要をわかりやすく解説した「柏市のわかりやすい予算」と「どうなっているの柏市の財政」を発行しています。

予算は「税金の使い方を決めること」で、決算は「結果として、どのように使ったのか」を確認することです。特に民間の会社では、決算は会社の業績のまとめであるため注目されます。

「どうなっているの柏市の財政」では、柏市の財政状況を市民の皆さんにわかりやすくお知らせするために、決算状況の推移や他市との比較、図表や指標を交えながら、できるだけ簡潔に表現するよう心がけました。

本冊子によって、市民の皆さんが柏市の財政に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

平成25年1月  
柏市長 秋山 浩保

目次	1 財政ってなに？ .....	1
	2 平成23年度決算を見よう .....	2
	3 柏市の財政状況はどうなっているの？ .....	7
	4 柏市の借金はどうなっているの？ .....	15
	5 柏市に貯金ってあるの？ .....	20
	6 健全な財政運営のためお金の使い方や 集め方を見直します .....	21

# 1 財政ってなに？

財政は市民生活に必要なサービスを提供するうえで重要な役割を果たしています

地方公共団体は、保育園や小・中学校の運営をはじめ、ごみの回収や処理、子育てや高齢者、障害者の支援、道路や公園、水道、下水道の整備や維持管理など、さまざまなサービスを行っています。

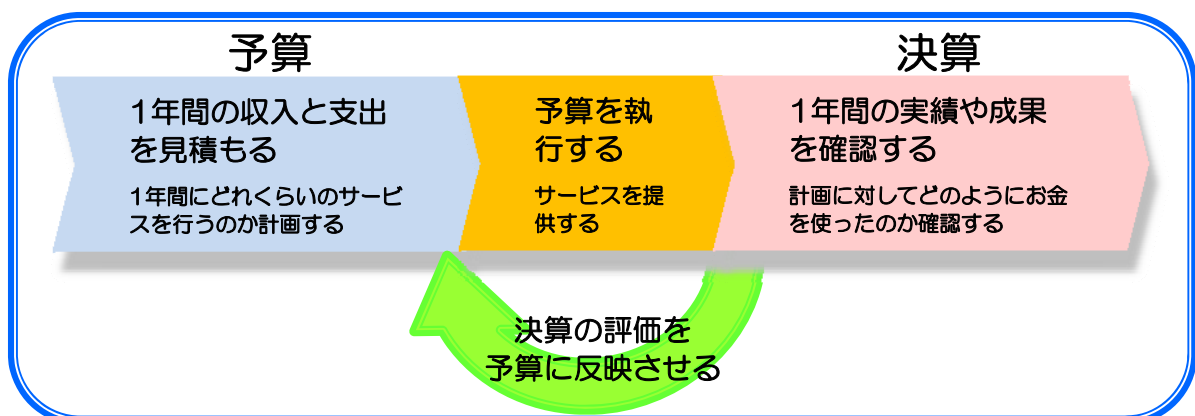


これらのサービスを計画的に行うために、毎年度、

- ① 使えるお金がどれくらい集まるかを予測したり、
- ② お金の使い道を決めたり、
- ③ 予定どおりにお金が使われたかを確認します。

この資金調達から収支状況の確認までの、お金の管理や運用状態のことをまとめて財政といいます。

★1年間に使えるお金がどれくらい集まるかを予測したり計画したり、その使い道を決めたりすることが予算で、その予算を1年間でどのように使ったか確認することが決算です。



## 2 平成23年度決算を見てみよう

柏市には「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3種類のお財布があり、すべての会計が黒字です

### 一般会計

福祉、医療、子育て、教育、道路や公園の整備など、市民の暮らしや、まちづくりに必要な基本的な行政サービスを行う会計です。  
市税は主にこの一般会計で使われています。

### 特別会計

保険料など特定の収入によって事業を行い、その収支を明確にするために一般会計とは別に設置した会計です。  
国民健康保険事業など11の会計があります。

### 企業会計

民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。  
病院事業と水道事業の2つの会計があります。

平成23年度はすべての会計が黒字で運営できました。特に一般会計では、東日本大震災からの復興・復旧に対して国から震災復興特別交付税（約21億円）が交付されたため、黒字は前年度と比較して大幅に増加しています。

### 《会計別黒字の状況》

区分		22年度	23年度
一般会計		41億円	60億円
特別会計	① 国民健康保険事業	30億円	35億円
	② 下水道事業		
	③ 公設卸売市場事業		
	④ 公共用地取得事業		
	⑤ 駐車場事業		
	⑥ 介護老人保健施設事業		
	⑦ 介護保険事業		
	⑧ 北柏駅北口土地区画整理事業		
	⑨ 学校給食センター事業		
	⑩ 母子寡婦福祉資金貸付事業		
	⑪ 後期高齢者医療事業		
	老人保健事業 ※H22年度で廃止		
企業会計	① 病院事業	118億円	89億円
	② 水道事業		

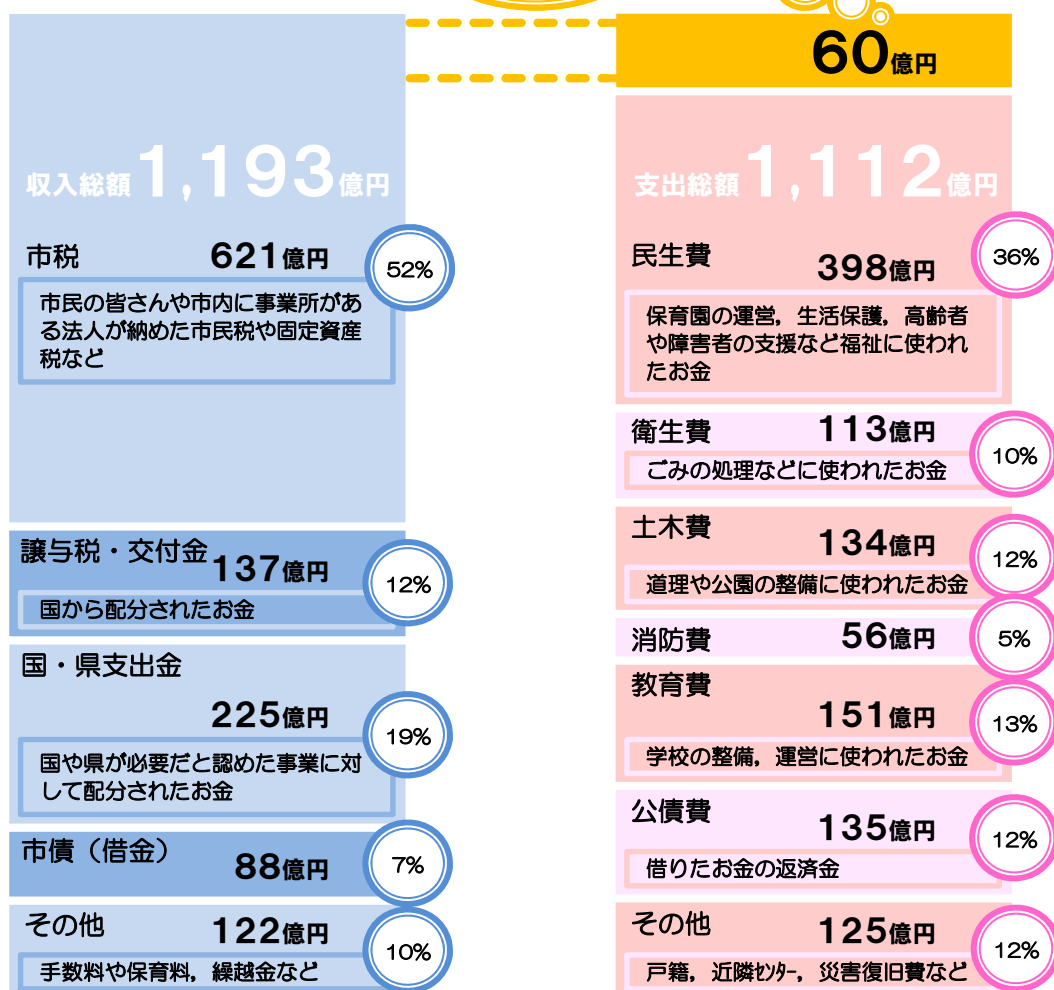
※詳しい内容は「平成23年度決算の概要（市ホームページ）」で見ることができます。

## 一般会計は60億円の黒字となりました

一番身近なサービスを行っている一般会計を例に、収支の状況がどうなっているのか見てみましょう。

一般会計の決算は、収入では市税や地方交付税が予算を上回ったこと、支出では経費を節約したことにより**60億円**の黒字となりました。

収入総額から支出総額を差し引いた81億円から、平成24年度に繰り越した事業の財源（21億円）を引いた**60億円**が実質的な黒字です。



※詳しい内容は「平成23年度決算の概要（市ホームページ）」で見ることができます。

## 黒字は何に使われるの？

黒字は翌年度の補正予算の財源として使われます。

本来、予算は当初予算のみの一回とするのが望ましいのですが、国の補助金等の変動や緊急やむを得ない場合などには事業を追加したり、中止したりすることがあります。この事業の変更に伴う予算を補正予算といいます。

平成23年度は当初予算と4回の補正予算で、平成22年度の黒字額（繰越金）41億円を使いました。

### 《平成23年度補正予算の内容》

予算区分	予算額	左のうち繰越金	補正の内容
当初	1,129億円	15億円	前年度繰越金として
6月補正	5億円	-	庁舎駐車場整備事業、高柳駅西側特定土地区画整理事業ほか
9月補正	7億円	3億円	東日本大震災関連事業、放射線関連事業ほか
11月補正	13億円	23億円	放射線関連事業、子ども医療費助成事業ほか
2月補正	13億円	-	学校施設整備事業、消防指令通信施設整備事業ほか
合計	1,167億円	41億円	

※11月補正では、当初予算に計上していた基金の繰入れを取り止めたため繰越金の額が予算額を上回っています。

平成23年度決算の黒字額**60**億円は、放射線対策事業のほか、当初予算には計上できなかった緊急性や必要性の高い事業の財源として使われています。

平成24年は、11月補正予算までで**16**億円の使い道が決まりました。



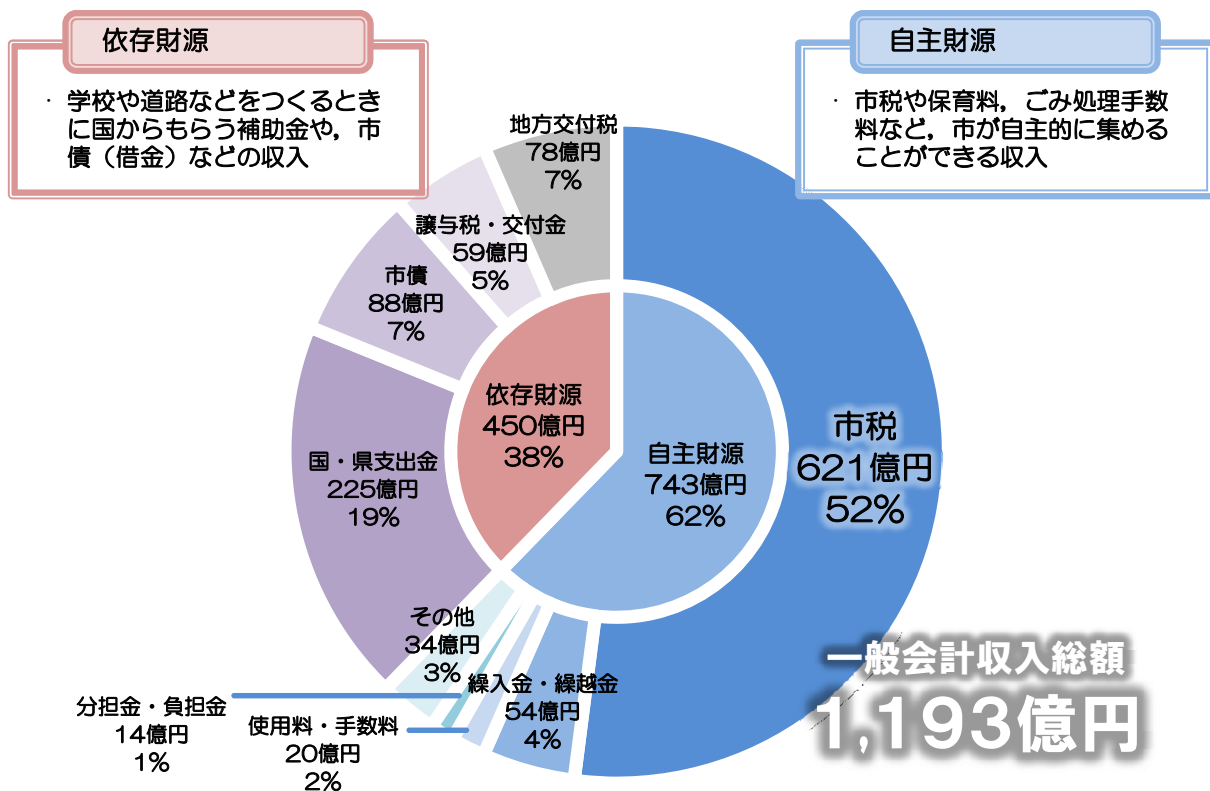
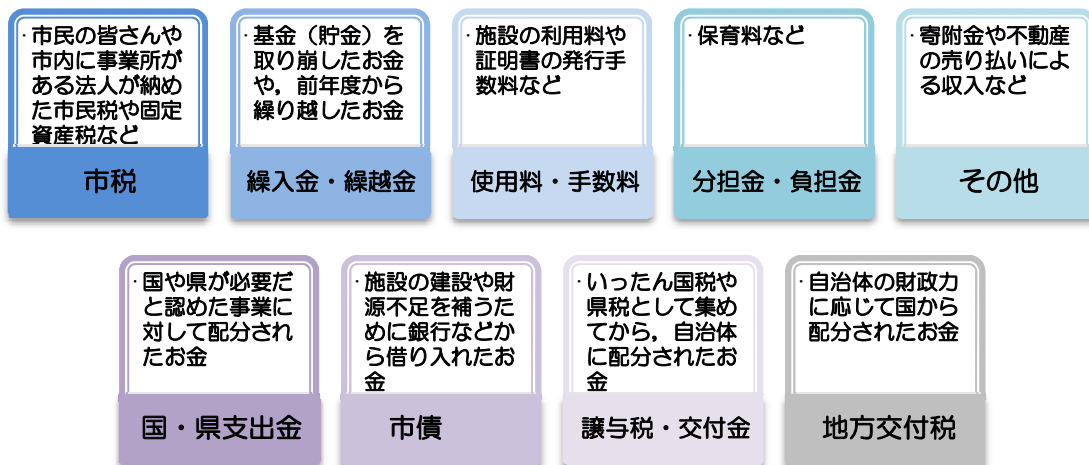
### 《平成24年度補正予算の内容》

予算区分	予算額	左のうち繰越金	補正の内容
当初	1,092億円	10億円	前年度繰越金として
6月補正	11億円	-	放射線関連事業ほか
9月補正	11億円	3億円	放射線関連事業、大室分署移転建設整備事業ほか
11月補正	15億円	3億円	公的介護施設等整備等補助事業、予防接種事業ほか
2月補正	?	?	
合計	1,129億円	16億円	

## 収入では、市税収入が全体の半分以上を占めています

収入には、市税のほか、国や県からの補助金、市債（借金）などがあります。収入の柱である市税収入は全体の52%を占めています。

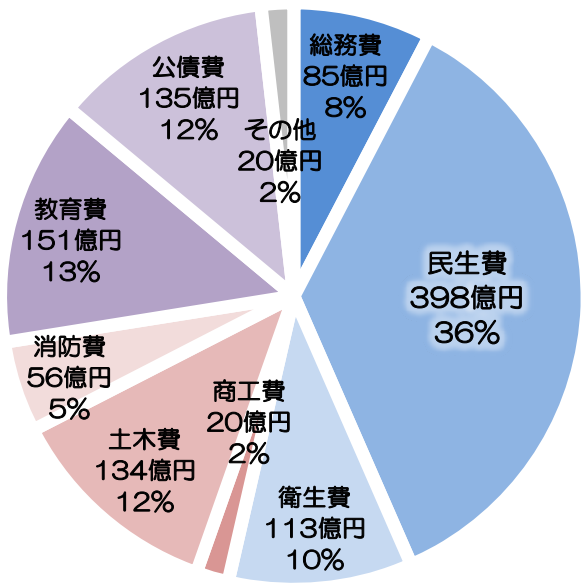
また収入は「自主財源」と「依存財源」に分けられます。自主財源が多いほど財政が安定し、市独自の事業をより多く行うことができます。



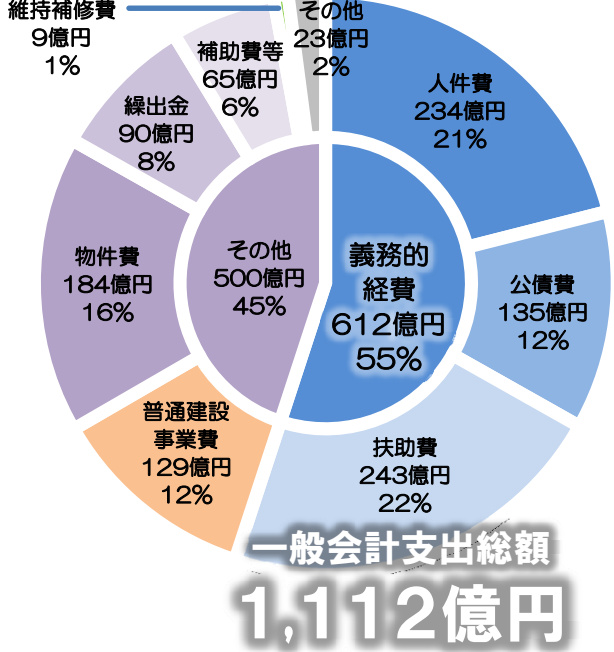
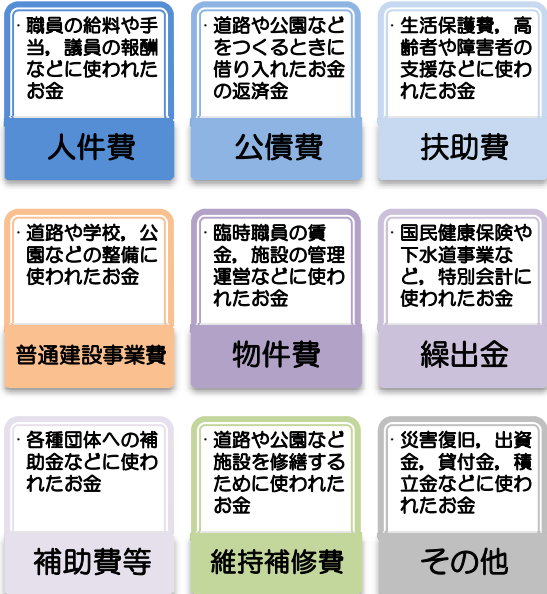
※詳しい内容は「平成23年度決算の概要（市ホームページ）」で見ることができます。

# 支出では、目的別で見ると「民生費」，性質別で見ると「義務的経費」の割合が大きいです

支出の状況を目的別に見てみると、民生費（福祉関係の支出）が全体の3分の1以上を占めています。また、震災からの復旧・復興に伴う支出（その他に含む）が増えました。



支出の状況を性質別に見てみると、毎年度必ず支出しなければならない義務的経費（人件費・公債費・扶助費）が全体の半分以上を占めています。



※詳しい内容は「平成23年度決算の概要（市ホームページ）」で見ることができます。



### 3 柏市の財政状況はどうなっているの？

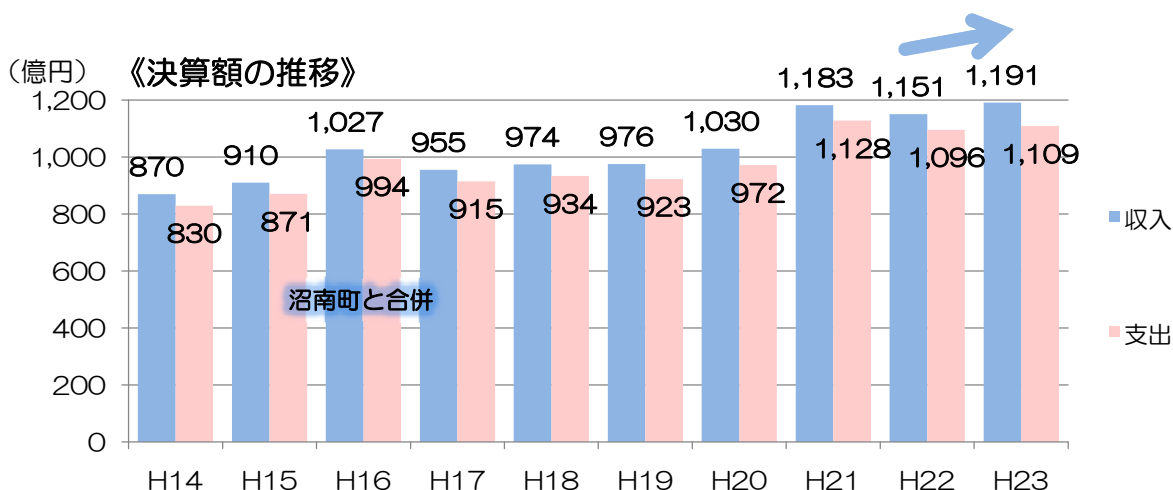
収入支出ともに前年度と比べて増加しています

ここからは他市との比較や、決算額の推移から柏市の財政がどうなっているのか、『普通会計』の決算で見てください。

普通会計の決算規模は、前年度と比べて収入は3.5%の増加、支出は1.2%の増加となりました。

主な要因として、収入では①市税収入は減少しましたが、②東日本大震災からの復旧・復興に対して国から震災復興特別交付税が交付されたこと、支出では①震災からの復旧・復興対策や放射線対策などの経費が増加したとがあげられます。

※普通会計とは他市との比較に使う会計です。柏市の普通会計は、一般会計に特別会計（11会計）のうち公共用地取得事業、北柏駅北口土地区画整理事業、学校給食センター事業、母子寡婦福祉資金貸付事業の4つの会計を合わせたものです。



※収入支出の内訳は「決算カード（市ホームページ）」で見ることができます。  
次ページ以降で掲載の市民1人あたりの金額は各年度の住民基本台帳の人口で算出しています。

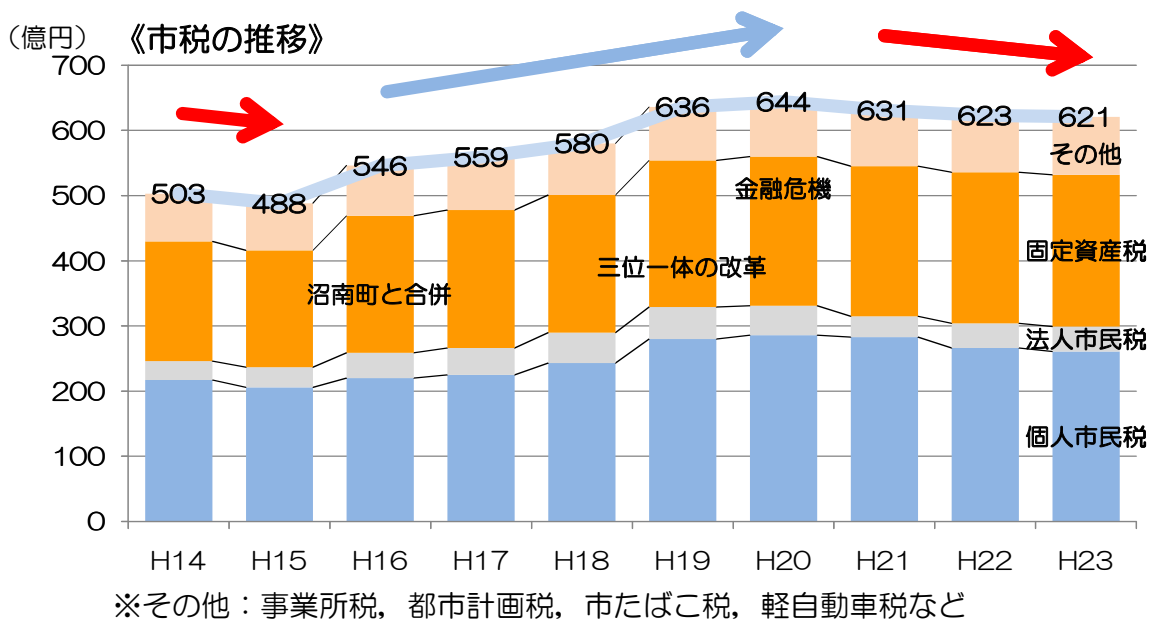
地方自治体の財政規模は、各自治体によって、設置される会計や一般会計の範囲が異なっていて単純には比較できません。  
このため、全国統一の基準でつくる統計上の会計が必要になります。



## 収入の柱である市税収入は3年連続で減少しています

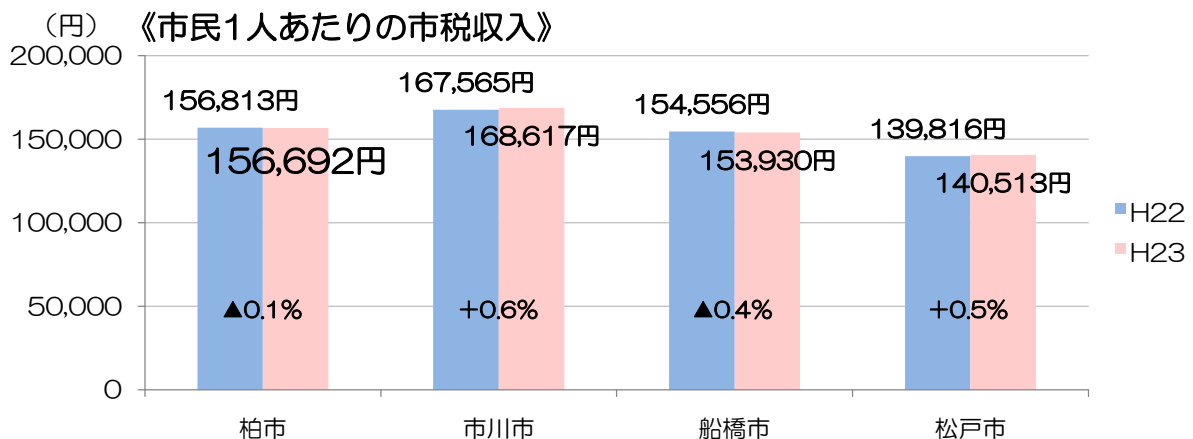
市税は、バブル経済崩壊に伴い長期にわたり減少傾向にありましたが、沼南町との合併や国の税制改革により増加に転じました。しかし、平成20年の世界金融危機以降の景気の低迷や、東日本大震災の影響などにより3年連続減少しています。

※三位一体の改革とは「地方にできる事は地方に、民間にできる事は民間に」という考えの下に、国庫補助負担金の廃止・縮減、国から地方への税源移譲、地方交付税の見直しを一体的に行った改革です。この改革により市民税が増加しました。



市民1人あたりの市税収入は高い方ですが、前年度に引き続き減少と厳しい状況が続いています。

税収（自主財源）が減少すると市独自の事業が困難になっていきます。



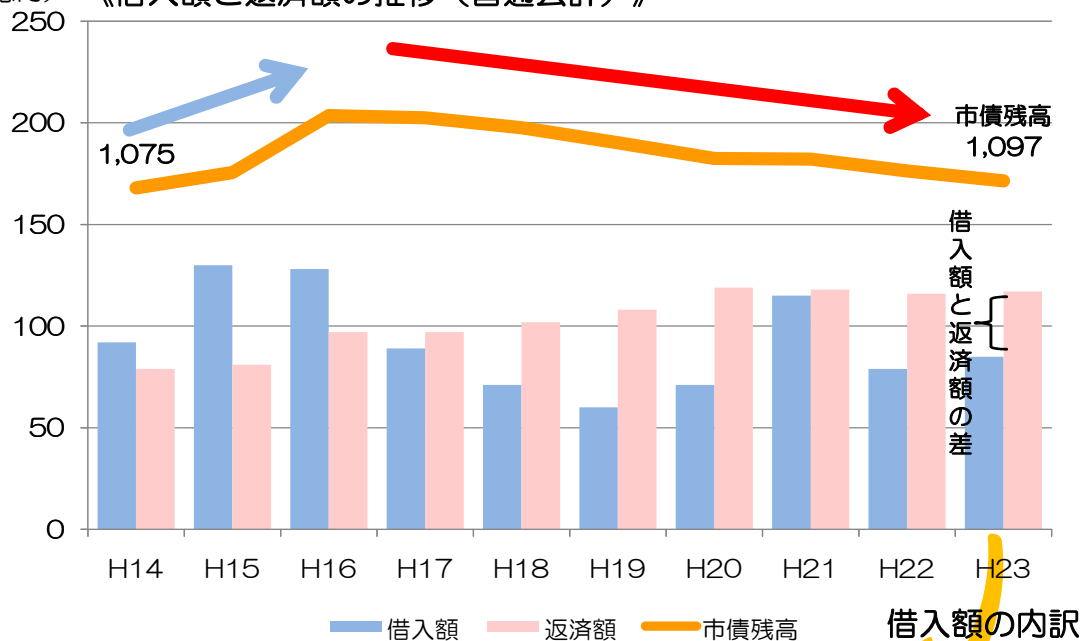
## 新規の借入を毎年度の元金返済額以内に行っています

沼南町との合併以降は、新規の借入を毎年度の元金返済額以内とすることで借金の残高を減らしています。

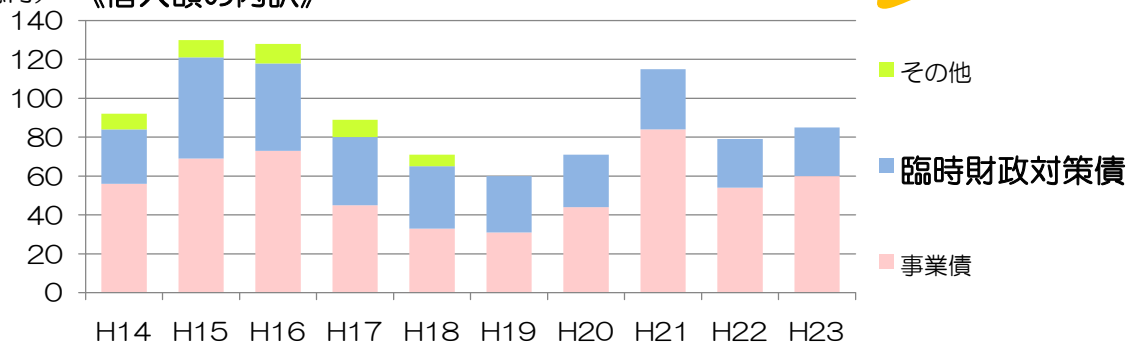
ただし、過去の借入に伴う返済がピークを迎えているため、毎年度の返済額は高い水準で推移しています。

※借金の状況については「4 柏市の借金はどうなっているの？」で詳しく説明しています。

(億円) 《借入額と返済額の推移(普通会計)》



(億円) 《借入額の内訳》



平成13年度以降、臨時財政対策債を発行しています。

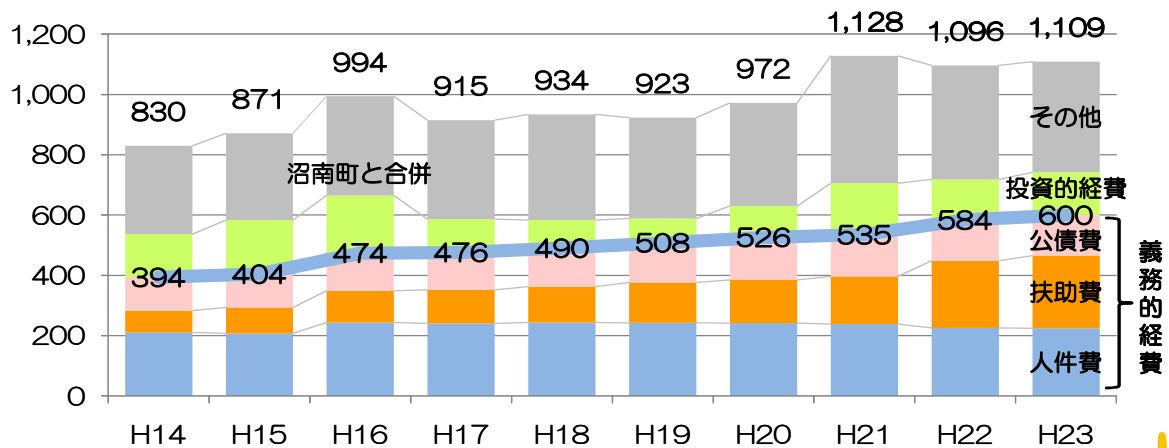
臨時財政対策債とは、国が地方交付税として現金を交付できない代わりに認めている借金です。国の財政が悪化しているため、地方交付税の不足分を借金で賄っている状況が続いています。

## 義務的経費が年々増えています

人件費、公債費、扶助費を合わせた義務的経費が増加しています。  
 義務的経費のうち、  
 人件費は給与水準や職員数の適正化により緩やかに減少してきています。  
 公債費は返済がピークを迎えているため横ばい状態です。  
 扶助費は年々増加し10年前と比べて3倍以上になっています。

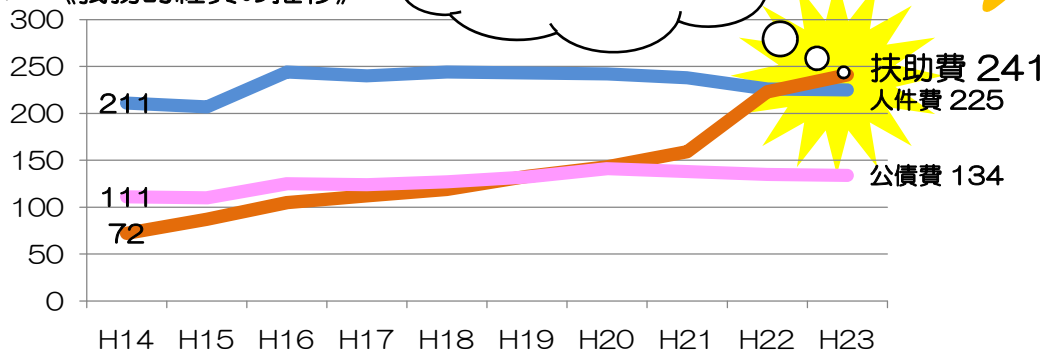
義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

(億円) 《支出総額の推移》



義務的経費のうち扶助費は増加傾向にあります。生活保護費をはじめ、子育て世代や障害者の支援に必要な支出が毎年増加しています。

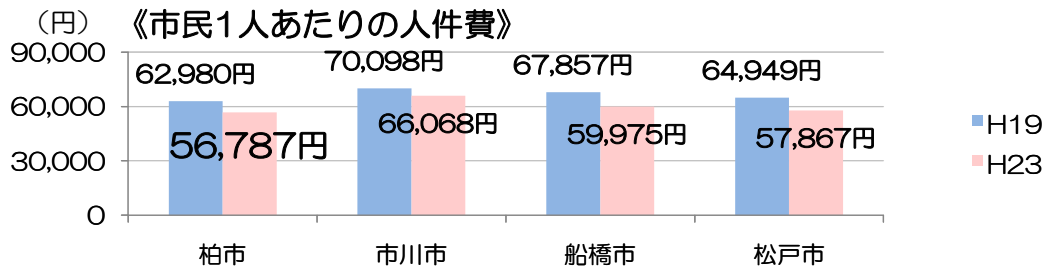
(億円) 《義務的経費の推移》



※人件費、扶助費、公債費は毎年度の支出が義務付けられていて簡単に減らすことができないため「義務的経費」といいます。

## 義務的経費の市民1人あたりの負担を比べてみました

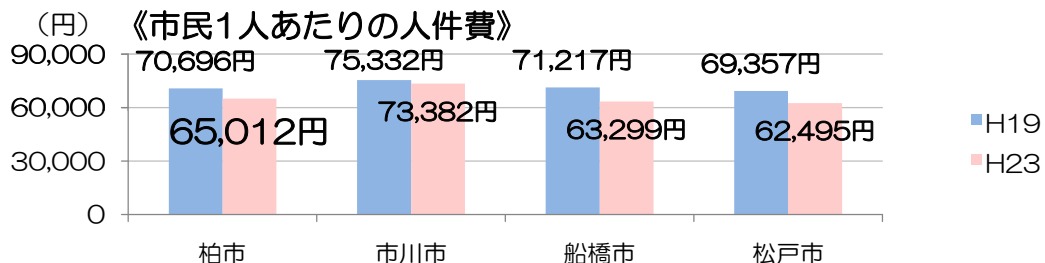
「人件費」は定員や給与水準の適正化や、事務事業の臨時職員対応などにより、他市と比べて低くなっています。



しかし…

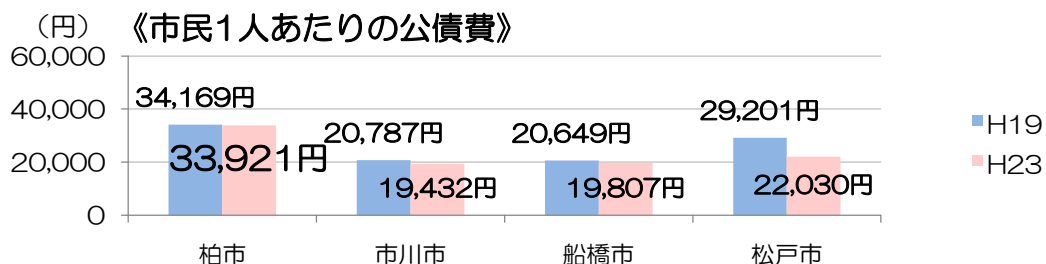
主に正職員の給与である「人件費」と臨時職員の給与である「賃金（物件費）」の合計額で比較してみると…

人に係る支出は平均的な水準になります。柏市は臨時職員に係る支出が大きいことがわかります。



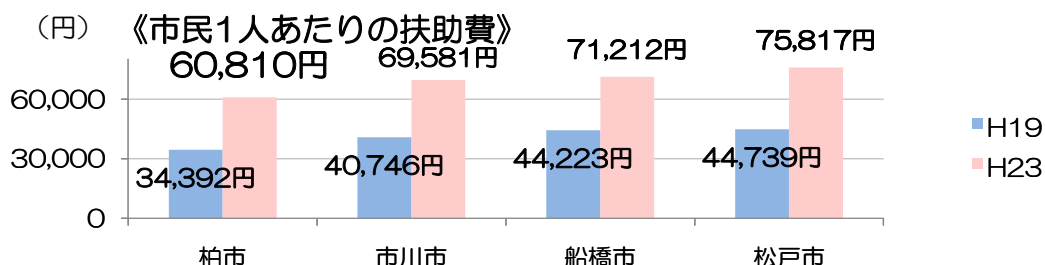
「公債費」、いわゆる借金の返済額は他市と比べて高くなっています。

新規の借入を抑制していますが、これまでにつくばエクスプレス沿線の開発や清掃工場の建設など、公共投資や公共施設の整備を積極的に進めてきたため、返済額は他市と比べて高い状況にあります。



「扶助費」は他市と比べて低いものの、5年間の伸び率は4市の中で一番大きいです。

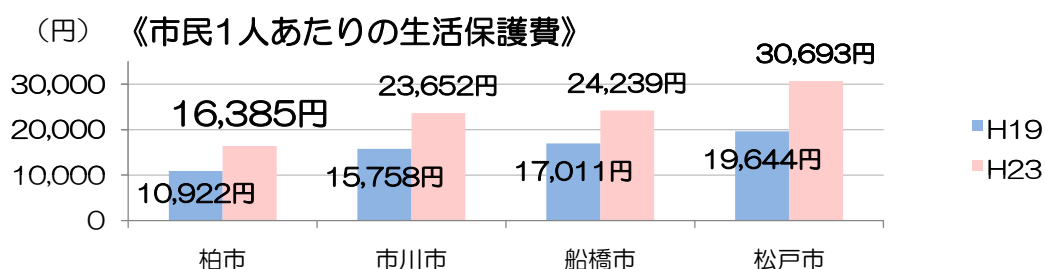
景気の低迷や高齢化の進展により扶助費が増大しています。扶助費は、その支出が法律で義務付けられているものが多く簡単には削減できません。



一番の違いは…

扶助費の特徴として、柏市は生活保護費の支出が4市の中で一番小さいです。

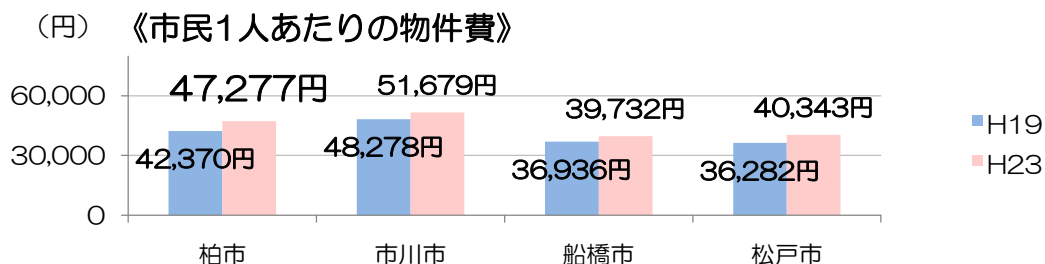
生活保護費は毎年増加していますが、それでも市民1人あたりの負担は他市と比べて低い状況にあります。



こんな違いも…

物件費は他市と比べて高くなっています。

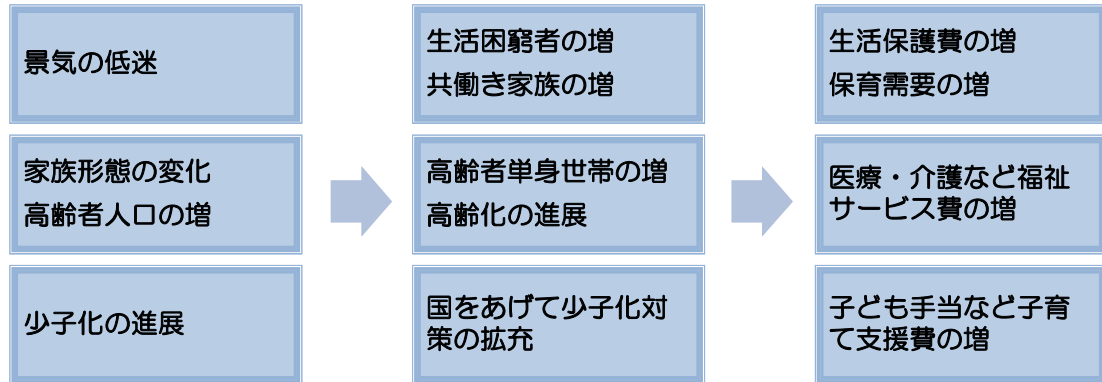
職員が直接業務を行わないで人件費を安くしてサービスを行っています。時間外保育士の臨時職員対応や、ごみの収集や処理業務の委託化、民間事業者による公共施設の管理・運営などにより物件費は高くなっています。



## なぜ扶助費は増えるの？

少子・高齢化の進展や景気の低迷などを背景に扶助費が毎年増加しています。

《扶助費が増える理由》

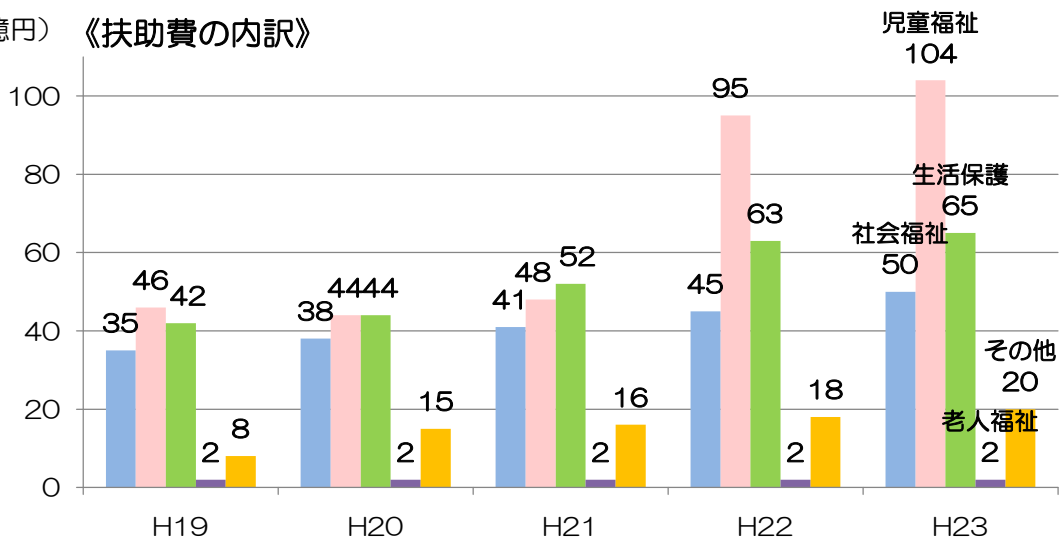


## 扶助費は何が増えているの？

生活保護費が毎年増加しています。また平成22年度以降は子ども手当の創設により児童福祉費が大きく増加しています。

※老人福祉費が少ないのは、後期高齢者医療や介護保険などの事業が特別会計という別のお財布で処理されているためです。

(億円) 《扶助費の内訳》



景気の低迷だけでなく、これからは高齢者人口の増加や家族形態の変化に伴う高齢者の単身世帯が増えていくため、介護や医療費、生活保護費などの扶助費はさらに増える見通しです。



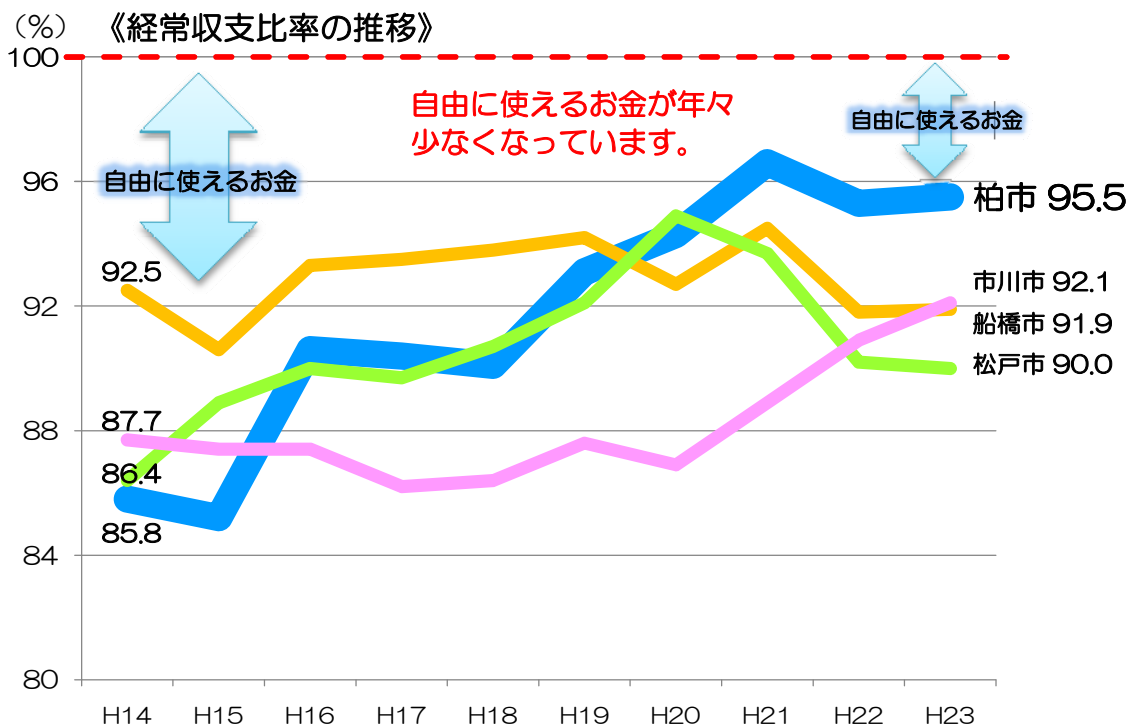
## 「経常収支比率」で財政状況のゆとりがわかります

経常収支比率は財政の硬直化を示す指標ですが、見方を変えると「自由に使えるお金がどれくらいあるか」を示す指標になり、財政の余力（ゆとり）を測ることができます。

比率は、市税など毎年度決まって収入されるお金が、人件費、公債費、扶助費などの必ず支払わなければならない経費にどれくらい使われているかを示していて、数値が低いほど財政に余裕があるというものです。

柏市の平成23年度の経常収支比率は、扶助費をはじめとする社会保障のための支出が増加したため、数値は前年度に比べて上昇しました。引き続き注意が必要な状況です。

※家計に例えると、給料に占める食費やローン返済額の割合みたいなもので、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなるというものです。比率が100%を超えるということは、食費などの決まった支払いだけで給料がすべて出ていってしまい、貯金や借金に頼らないと家計が成り立たないことを表します。



※上のグラフから10年前と比べて財政に余裕がなくなっていることがわかります。

一般的に市では70~80%程度が望ましいと考えられていて、80%を超えると財政に余裕がないと言われていています。自由に使えるお金が少ないと社会情勢の変化や市民のニーズに対してすぐに対応できないため、「財政に弾力性がない」とか「財政が硬直化している」といいます。



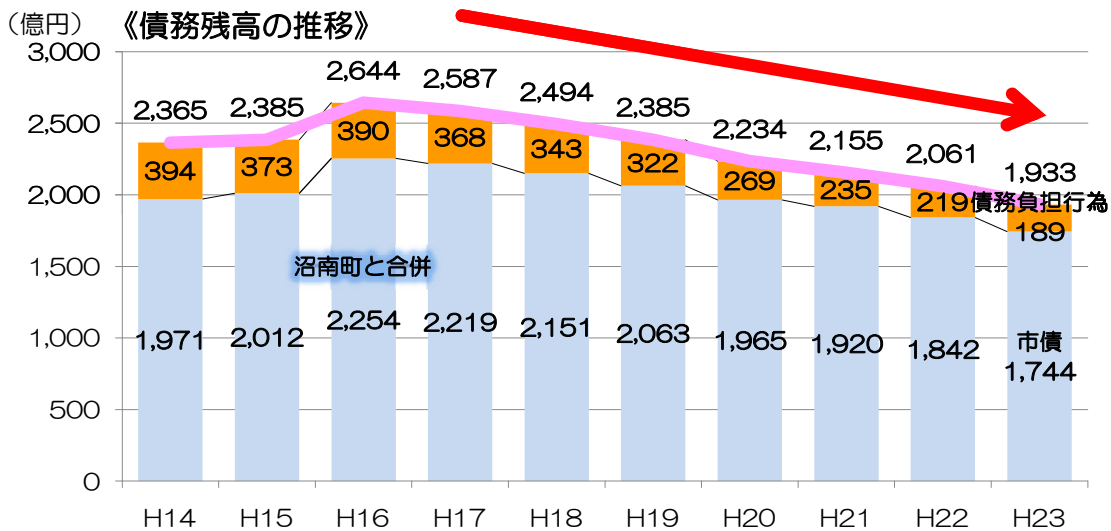


# 4 柏市の借金はどうなっているの？

## 借金はどれくらいあるの？

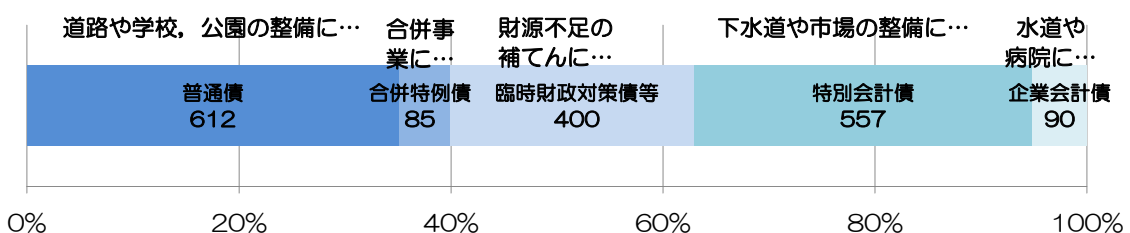
平成23年度末の柏市全体の借金の残高は約**1,744**億円です。また借金のほかに、債務負担行為（数年間にわたる契約により約束された支払い）のうち公債費に準じるものが約**189**億円あります。（主に土地開発公社に先買いしてもらった土地を市が買い戻すための支払いです。）

将来世代に負担を残さないよう「返す以上に借りない」ことを基本に新規の借入を抑制しているため、借金の残高は7年連続で減少しています。



借入金は、道路、学校、公園、下水道などの整備のほか、国から交付される地方交付税の不足分を補うために使われています。

### 《市債残高1,744億円の内訳》



## どうして借金をするの？

市債（借金）には「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の支出を平均にする役割」があります。

公共施設の建設には一時期に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄ってしまうと他の事業ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、長期間にわたって将来の市民も利用するものであるため、公平にその費用を負担してもらうという意味から、市債を活用しています。

### 借金をしないと…



例えば、小学校の建設にかかった費用を一度に払ってしまうと…

学校や保育園の運営、道路の整備や管理などに必要なお金が足りなくなってしまいます。



また、1人あたりの負担は…

建設費をその年度の市民だけで負担するため1人あたりの負担は大きくなります。

負担

ラクチン!



現在の市民

1年後

2年後

3年後

将来の市民

### 借金をすると…

将来の市民も公平に建設費用を負担

負担

負担

負担

負担



現在の市民

1年後

2年後

3年後

将来の市民

建設費を多世代で負担するため1人あたりの負担は小さくなります。

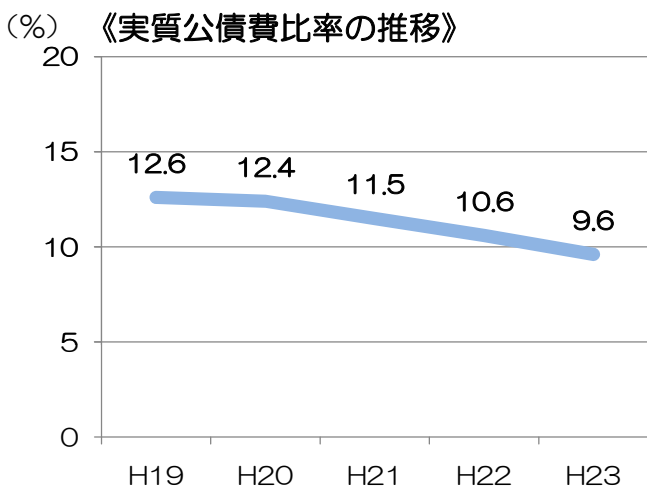
## 借金の返済は大丈夫なの？

### 国の基準「実質公債費比率」で見てみると…

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。1年間の収入に対して返済額がどれくらいの割合になるのか、借金返済の負担が大きすぎないかチェックするものです。

この割合が年収の25%を超えるとイエローカードです。柏市の数値は9.6%で国の基準を下回っていますが、県内の市平均より少し高い状態にあります。

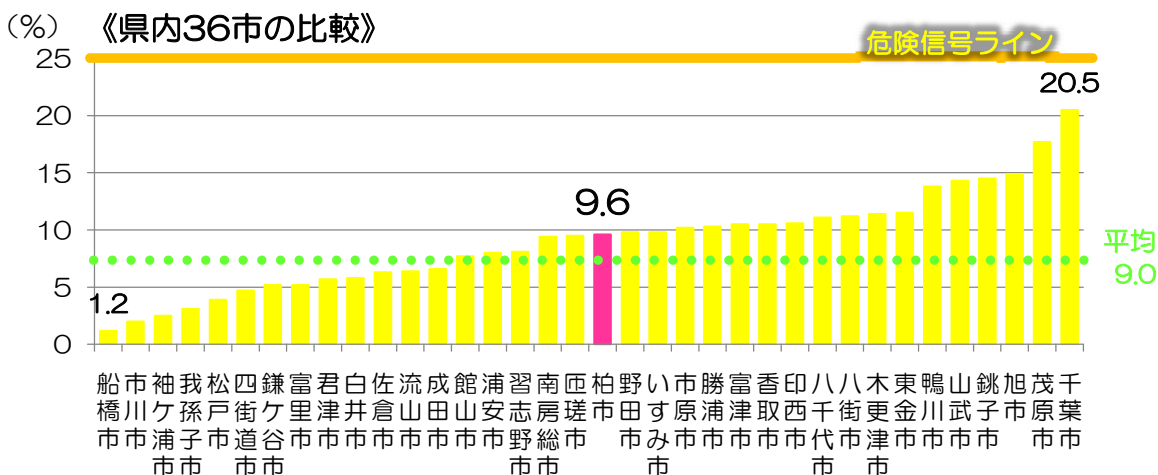
※家計に例えると、家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなどの返済額が、年収の25%以上となった場合は、借金返済の可能性が高いということで危険信号です。



平成23年度の実質公債費比率は県内36市中19番目です。



※詳しい内容は「健全化判断比率の公表（市ホームページ）」で見ることができます。



※他市の数値は「平成23年度決算に基づく健全化判断比率（確定値）千葉県ホームページ」より

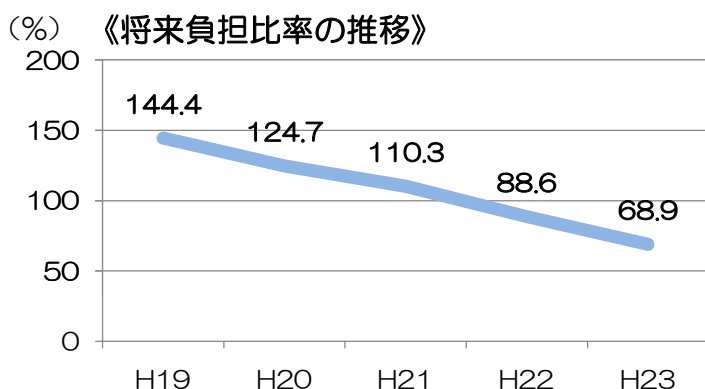
## 将来の負担は大丈夫なの？

### 国の基準「将来負担比率」で見てみると…

借金や債務負担行為、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、1年間の収入に対してどれくらいあるのかを判断する基準に「将来負担比率」というものがあります。

この割合が年収の3.5倍を超えるとイエローカードです。柏市の数値は68.9%となり、柏市行政経営方針に掲げた財政の健全化のための数値目標を達成しましたが、県内の市平均よりも少し高い状態にあります。

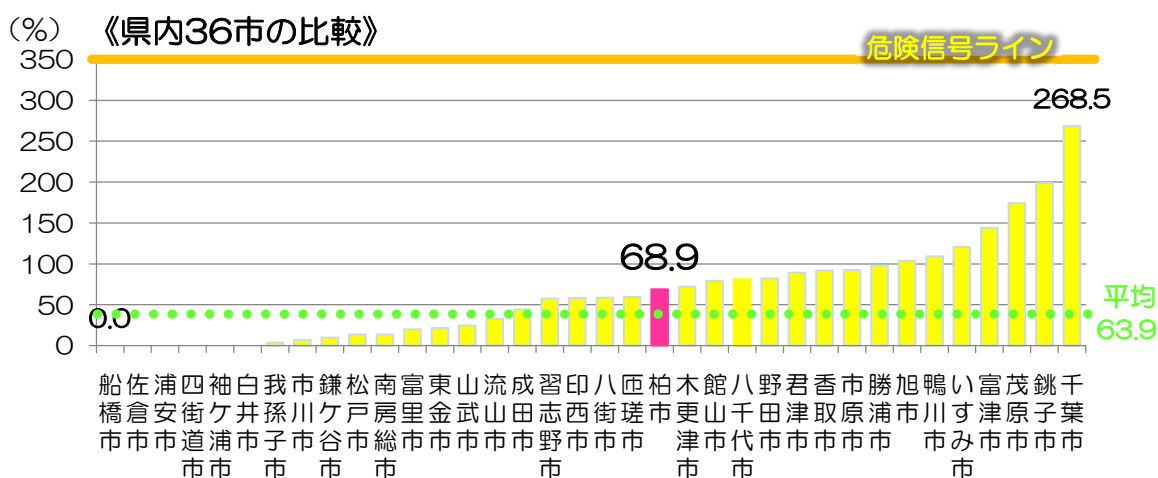
※家計に例えると、家や車のローン残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済しなければならないお金の総額が年収の3.5倍以上となった場合は、今後ローンの返済に追われ、家計が成り立たなくなるといって危険信号です。



平成23年度の将来負担比率は県内36市中21番目です。国の基準を大きく下回っていますが、県内の市平均から見ると、もう少し借金を減らした方が良いといえます。



※詳しい内容は「健全化判断比率の公表（市ホームページ）」で見ることができます。



※他市の数値は「平成23年度決算に基づく健全化判断比率（確定値）千葉県ホームページ」より

## ～ちょっとひと休み～ 健全化判断比率ってなに？

平成19年に地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐことを目的に「財政健全化法」という法律ができ、財政状況が良好かどうかを判断する指標「健全化判断比率」を議会や市民の皆さんに公表することが義務付けられました。

健全化判断比率は、①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率の4つの指標で構成されています。

①は普通会計の年間の赤字の状況、②は全会計の年間の赤字の状況、③は借金返済の状況、④は将来負担が見込まれる負債の状況をチェックするものです。

健全化判断比率から見た平成23年度の柏市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す「早期健全化基準」を下回っています。

(%)

比率	柏市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H22	H23		
① 実質赤字比率	△ 5.90	△ 8.31	11.25	20.00
② 連結実質赤字比率	△ 26.59	△ 25.35	16.25	30.00
③ 実質公債費比率	10.6	9.6	25.0	35.0
④ 将来負担比率	88.6	68.9	350.0	

※「△」の表示は数値が黒字であることを示します。例：平成23年度の実質赤字比率「△8.31%」は黒字率「8.31%」になります。

### 「早期健全化基準」「財政再生基準」とは…

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード（早期健全化基準）で警告します。

そして、さらに財政状況が悪化し、自主的に財政の立て直しができなくなったときはレッドカード（財政再生基準）で、国・県の関与のもと確実な財政の立て直しに着手することとなります。



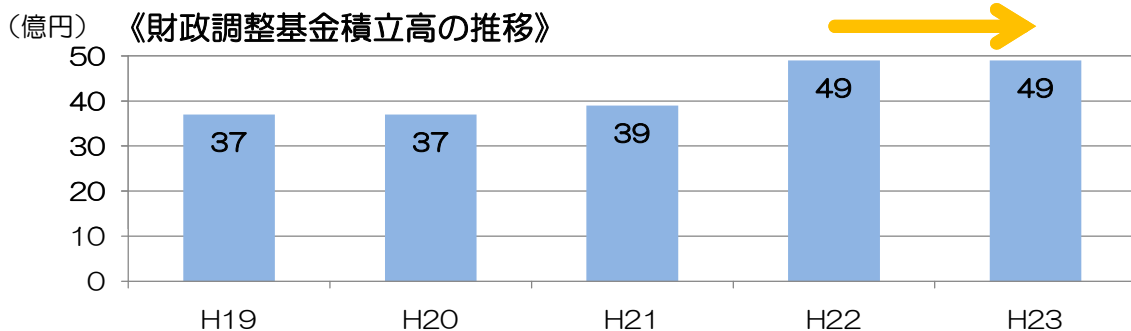
# 5 柏市に貯金ってあるの？

一般家庭に貯金があるように市にも貯金があります

市の貯金のことを基金といいます。基金は大きく、使い道が決まっている「特定目的基金」と、財源不足を補うための「財政調整基金」に分けられます。

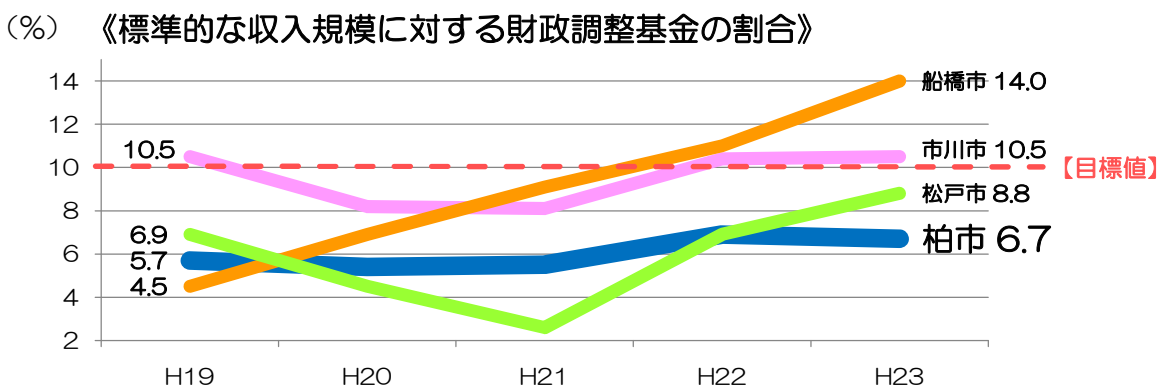
平成23年度は当初の見込みよりも黒字となりましたが、放射線対策に対する国の負担が不確定なため、財政調整基金への積立ては行いませんでした。

※家計に例えると、大きな買い物や子どもの進学のために積み立てる定期預金が「特定目的基金」で、月々の家計がピンチのときや突然の大きな支出が発生したときにおろす普通預金が「財政調整基金」です。



災害や経済変動に備えて財政調整基金を強化します。

景気の変動や国の制度改革による大幅な減収、災害などの突然の支出に対し、弾力的に対応でき、安定した財政運営が行えるよう、財政調整基金の積立高を標準的な収入規模の**10%**以上にします。



# 6

## 健全な財政運営のためお金の使い方や集め方を見直します

まちづくりにはお金がかかります。しかし、景気の急速な回復が期待できないなかで、福祉や医療など市民生活を支えるお金は今後も増加する見通しです。

そこで柏市では、健全な財政運営をしながら地域の特性を活かしたまちづくりを進めるため、お金の使い方や集め方を見直す計画を作成しました。

### 柏市行政経営方針(平成23～27年度)

- 事業仕分けなどにより事務事業を見直します
- 職員数や職員給与を見直して人件費を削減します
- 扶助費をはじめとした社会保障費を見直します
- 使っていない財産を売却して財源を確保します
- サービスを利用する方が負担する料金を見直します

### 数値目標(平成27年度までに)

経常収支比率比 <b>95%以下</b> 自由に使えるお 金を増やします	将来負担比率 <b>85%以下</b> 借金を減らしま す	財政基盤強化度 <b>10%以上</b> 減収や災害など に備えて貯金を 増やします
---	--	--

### 見直したお金を活用して…

- 笑顔で子育てができるまちづくり
  - 高齢者が元気なまちづくり
  - 産業に活気があり人が集まるまちづくり
  - 市民が安全・安心に暮らせるまちづくり
  - 人と環境にやさしい低炭素先進都市のまちづくり
- を進めます**

※詳しい内容は「柏市行政経営方針(市ホームページ)」で見ることができます。

## どうなっているの柏市の財政 平成23年度版

平成25年1月

発行 柏市

お問い合わせ先 柏市 財政部 財政課

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号

電話 04-7167-1120 FAX 04-7167-1210